

ドル／円(5/21) テクニカル通りに下落STOP、引き続き底堅いか



コメント

先週の値動き＝ドル買戻し。月曜日から値動きが大きく乱高下する中、金曜日に大きくドルが買い戻された。

今週の指標＝水曜日以降、米指標発表。金曜日には、日本の消費者物価指数も発表される。週末にかけ注意。

テクニカル＝テクニカル通り、きれいに下落が止められた。ボリンジャーバンドの -2σ が108.96円、サポートラインが108円後半。最近のドル円は、テクニカル通りの相場展開となっている。

引き続きボリンジャーバンドの下値が切りあがってきており、下落リスクも限定的か。下落基調は継続も、12ヶ月移動平均線114円後半までの戻りはあるか。

テクニカル・レート

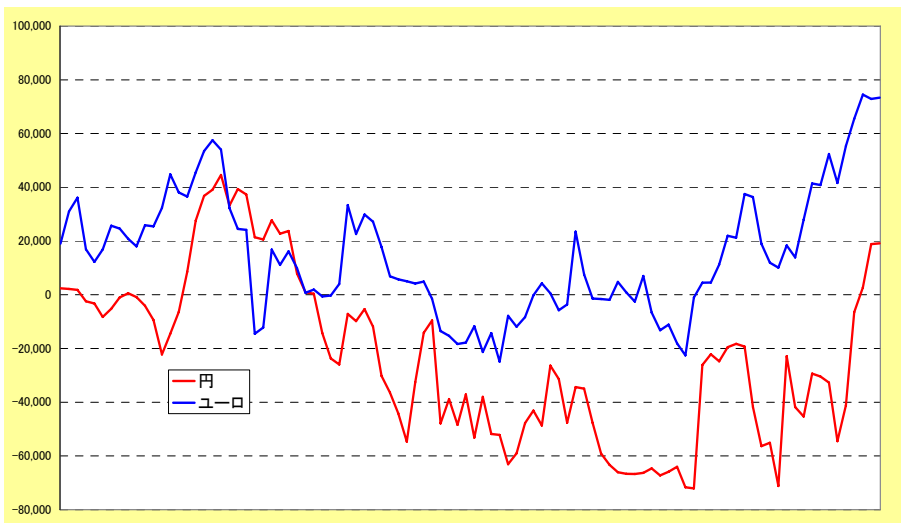
$+2\sigma$ = 120.65円
12ヶ月移動平均線 = 114.67円
 -2σ = 108.96円

今月初値 = 113.70円
今月高値 = 114.17円
今月安値 = 108.98円
今月終値 = 111.66円

今週の投資例

トレンド＝下落
現在値＝111.66円
・方向感がはっきりしないため、様子見か短期投資。トレンドフォローなら114円近辺から戻り売り。

投機筋の円買い持ち拡大は一服、日銀はゼロ金利政策継続

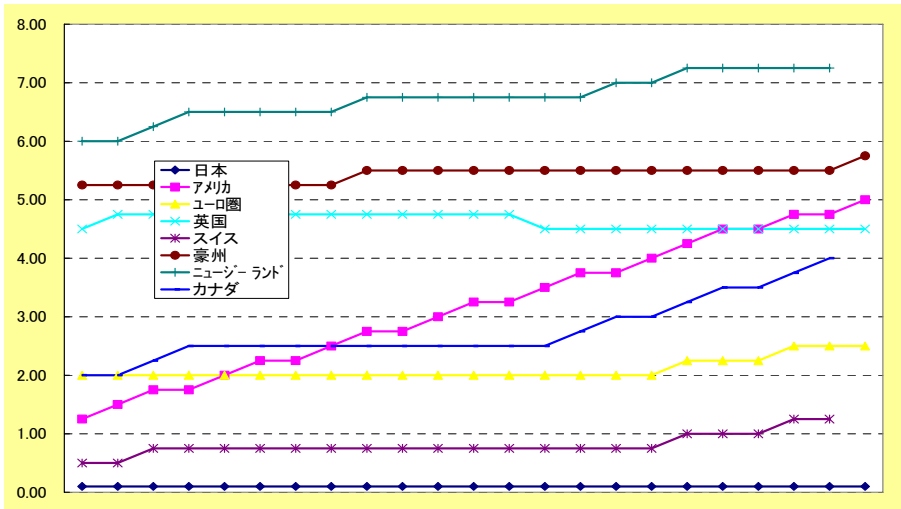


IMM投機筋ポジション動向

5月16日までの状況では、シカゴIMM投資筋の円の買い持ちは約1.9万枚。先週とほぼ横ばいとなった。16日の終値は109.77円。直近19日の終値は111.66円。買い持ちに調整が入っているだろう。

一方、ユーロの買い越しも先週とほぼ同様の約7.3万枚。16日が1.2849ドル。19日が1.2766ドル。やや調整か。

総じて、投機筋の動向から見ると、先週は円高の動きに一服感がでた模様。まだドル買戻しの動きが発生したとは言いがたい。



各国金利動向

先週は、19日に日銀金融政策決定会合が開かれ、現状維持で全員一致。ゼロ金利政策が継続が決まった。月例経済報告では、日本経済は「拡大」しているとの認識。一部6月利上げ説の噂もあったが、福井日銀総裁はそれを否定。日銀当座預金は減少している模様。26日(金)には、消費者物価が発表される。

今週は24日(水)に、カナダBOC政策金利が発表。25bp利上げされる見通し。加ドルは対ドルで目先下落基調も、底堅い展開が続いている。対円でも、円高基調の中、他通貨に比べ底堅い。